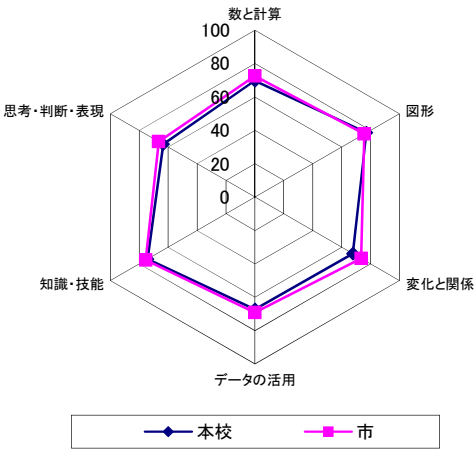


宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	69.8	72.6	73.1
	図形	77.1	75.7	74.7
	変化と関係	67.8	73.6	66.1
	データの活用	67.2	69.2	70.7
観点別	知識・技能	74.3	75.5	74.4
	思考・判断・表現	63.5	66.5	67.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。 ○計算については小数の除法において、平均正答率が市の平均を上回っており、基本的な計算力は身に付いていると考えられる。 ●問題の文章に合った式を選ぶ問題や2つの文字を使った式について、経年変化をみると、数年にわたり平均正答率が市の平均を下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・引き続き基本的な計算の力を身に付けられるよう、朝の学習、少人数指導等の時間を活用して、継続して指導していく。 ・図で表したり、説明したりする活動を繰り返し行い、数量関係を正しく図や式に表す力を育てる。 ・下学年から問題を図で表したり、説明したりする活動を十分に行い、積み重ねていく。
図形	平均正答率は、市の平均よりも高い。 ○図形の面積や、三角柱の展開の問題に対する平均正答率が市の平均を上回っている。 ●直方体を組み合わせた形の体積や三角形の外角を求める問題で、正答率が低い。	・面積や体積を求める公式を確認する。普段の授業においては、それぞれの考え方を十分に共有し、公式を導き出すようにする。 ・教科書に出てくる問題以外にも、様々な出題形式の問題に触れさせ、活用する力を育てる。
変化と関係	平均正答率は、市の平均より低い。 ●表から面積と人数の割合を求め、どのシートが最も混んでいるかを考察する問題の正答率が低い。 ●速さの単位に関する理解が十分ではない。	・文章をじっくり読み、問題の意図を正しく理解して課題に取り組もうとする力を育てていく。 ・道のり、時間、速さの関係、面積、人数、密度の関係等の3項目の関係について、日常生活と関連付けるなどしながら、実感を伴った理解ができるように指導していく。 ・答えを見積もるなど、見通しを立てて問題に取り組む習慣を身に付けさせる。
データの活用	平均正答率は、市の平均よりもやや低い。 ○度数分布表の空欄に当てはまる数字を解答する問題、円グラフから読み取れることを選ぶ問題の正答率が高かった。 ●代表値を用いて、説明する問題の正答率が低い。	・聞き慣れない用語が多数出てくるため、それぞれの用語について、丁寧に確認する。 ・社会科等他教科の学習資料や新聞などを活用して繰り返し確認することで理解を深め、活用する力を育てる。 ・日常生活と関連させながら、データの活用の有用性や必要性についても理解を深めるようにする。